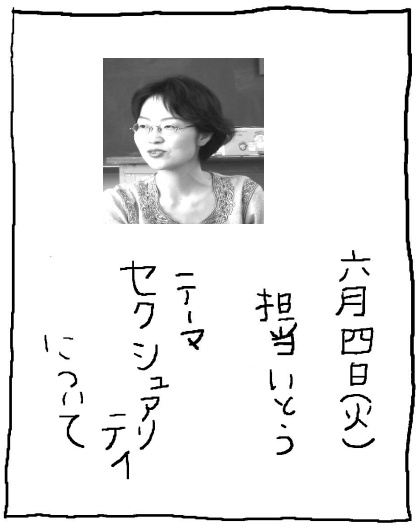
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	性の多様性について
Author(s)	伊藤, 悠子
Citation	臨床哲学のメチエ. 2003, 11, p. 20-21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/3769
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka



性の多様性について

伊藤さんが伝えたかったこと

芦原病院で看護士をなさっている伊藤悠子さんは、産婦人科で若いお母さん達の手助けをする一方で、さまざまなセクシュアリティを持つ人々を支える活動をされています。伊藤さんは、福井高校の生徒達に性の多様性についてご自分の経験を交えてお話をしてくれました。生徒達の質問・感想に対して伊藤さんからこんなお返事をいただきました。

福井高校のみなさん、こんにちは。
先日「であいのてつがく」でお会いした、看護婦の伊藤悠子です。
　授業では、不慣れな講師にもかかわらず話を熱心に聴いてくださって、うれしかったです。どうもありがとうございました。
アンケートもしっかり書いてくださいましたので、ひとりひとりの意見を読ませていただいて、お返事がしたくなりました。どなたが書いてくださったかは分かりませんので、「みなさんに」ということで、読んでくださいね。

“ いろんな専門用語があってむずかったと思ったりした。”
→ そうですねー。性の決定には４段階もあって、それぞれ連続している、ということを説明する部分が長かったですね。
プリントとか、読むものの量が多いのを避けようとして、かえって集中するのに疲れてしまったのでは・・と反省しました。ごめんね。

**“ 性同一性障害というのはむずかしい問題なんだなぁーと思った。
　性にはいろいろなことがあるのがわかった。”**
→ そうそう、どんなセクシュアリティの人も、自分が主人公ですよね。

“ いろんな人がおるんやと思った。”
→ それが伝わったのはうれしいです。さまざまな性自認(私って何者？)
多様な性指向(男が好き，女が好き，その他 etc.)それをどう生きるか、選択も様々。自分や相手が互いによいと思えることなら、何だってアリ☆

“ 性転換手術と他の性(中間？)についての話 ”
→ この意見すごい、って思ったのは(中間？)としてあるトコロ。
もしかしたら、男女がクリアにふたつに分かれているのではない、と私が言ったので、「それなら中間、というのもおかしいかも？」って考えてくれたんかなあ。

**“ 性転換の手術がむずかしいなんてしらなかったし、たくさん性転換をのそん
でいるとは知らなかったのでそれが印象にのこった。”**
→ かつては「性転換手術」と呼ばれていたのが、現在は『性別適合手術』と改められています(たとえば、女から男になる、とかいうのではなくて本人にしたら、本来の自分の性に戻る、という意識だろうと。)
手術は一度では済まなくて、何段階もあるので、最終的な完了までに年数もかかってしまいます。だから、できるだけ早く手術を始めたいのです。

“ 性転換手術が中止になったこと ”
→ 自分たちがやりたい手術だったら、研究材料として扱うのに、人の人生の幸福や苦しみには関心がないっていう研究者(医者)は本当に困りますね。

“ せつかく精神療法とか終わって手術を待つていても倫理会での承認がなくて待たされているというのを聞いて、おかしい話だと思った。"
→ それでなくても、日本では公に手術をするといっている大学病院は岡山と埼玉医大しかないのに、そこがストップしてしまったら、待っている人にしたら絶望的ですよね。
海外で生活しながら手術ができる人なんて限られてるし、そうなるとヤミで手術するか、自分の一生を本当の意味でスタートすることを、あきらめるしかないのでしょうか・・

“ 新聞を読んで、手術をして、二人も死んでたなんて知らんかって
びっくりした。”
→ 亡くなられた方や、そのご家族はどんなに無念だったか・・と胸が苦しくなりますが、あの記事は氷山の一角で、報道されない事故も、実際には いっぱいあると思います。でも、「恥ずかしいこと」とか「隠すこと」と 思わされているのをいいことに、裁判にもならず、警察に通報もされず、闇に葬られたり、内密に収められてしまうことがほとんどかもしれません。

“ クリニックは小用(信用)できないと思った。
→ この手術にはたいへんな時間と費用がかかります。病名が付いての手術は保険が使えて 3 割負担なのですが、美容整形だと、保険は利かず 10 割全額負担であるばかりか、技術的にも未熟だったり、後のケアができないところも多く、そういう場合は泣き寝入りになってしまいます。

“ 性同一性障害
障害なんてすか??　障害ってどういう意味ですか？？ ”
→ 今までに、いろんな勉強を身につけて来られたんですねー。
この問い、というか意見は「性同一性障害」の、そして自分そのものである、性と生存の権利【セクシュアル・ライツ】の本質を突いている、と低、いましたよ★

どんな当事者にとっても、しぶん自身のかけがえのない、ありのままの性(セクシュアリティ)であるのだから、何で「障害」なんてくくり方をするのか？変ですよね。
障害なのは、生き難くしている社会の側じやないか、ってわたしは感じています。「みんな」にとっての「普通」「あたりまえ」って一体何なのか、その前提を疑わない鈍感さによって傷つくのよ、つて思っちゃうんだよね。

ということで、あっという間の時間でしたが、みなさんと会えてホントウに嬉しかったです。今でも一人ひとりの顔が浮かんできます。ありがとう。
性に関する質問や相談などがあれば、いつでも連絡してください。
では、お元気で。　　伊藤悠子。（いとうゆうこ）